

水銀を使用している製品は 可燃ごみに入れないでください

南会津地方環境衛生組合のごみ焼却処理施設である「西部クリーンセンター」において、煙突から排出された排出ガス中の水銀濃度が基準値を超えたため、現在、焼却炉の運転を停止しています。

原因としては、水銀を含むごみが「可燃ごみ」へ混入したことが考えられます。

◎水銀は、主に蛍光管や血圧計・体温計・温度計・（銀色の液体が入っているもの）、マージョロクロム液（赤チン）、朱肉（印泥用）、ボタン電池などに含まれています。

水銀を含むごみ（血圧計、体温計、温度計など）は絶対に可燃ごみに出さないでください！



血圧計



体温計



温度計



蛍光管



電池

※体温計2本程度で排出基準値を超えてしまうと言われています。

◆西部地域の皆様へ

現在、集積所から収集された可燃ごみは東部クリーンセンターへ搬入して焼却処理を行っています。西部クリーンセンターへ直接搬入された可燃ごみは、収集車に積み替えて東部クリーンセンターへ搬入して焼却処理しています。

可燃ごみについては、なるべく集積所に出していただきますようご協力をお願いします。

分別の徹底と混入防止にご協力をお願いします。

問い合わせ先：南会津地方環境衛生組合 TEL 0241-67-3820